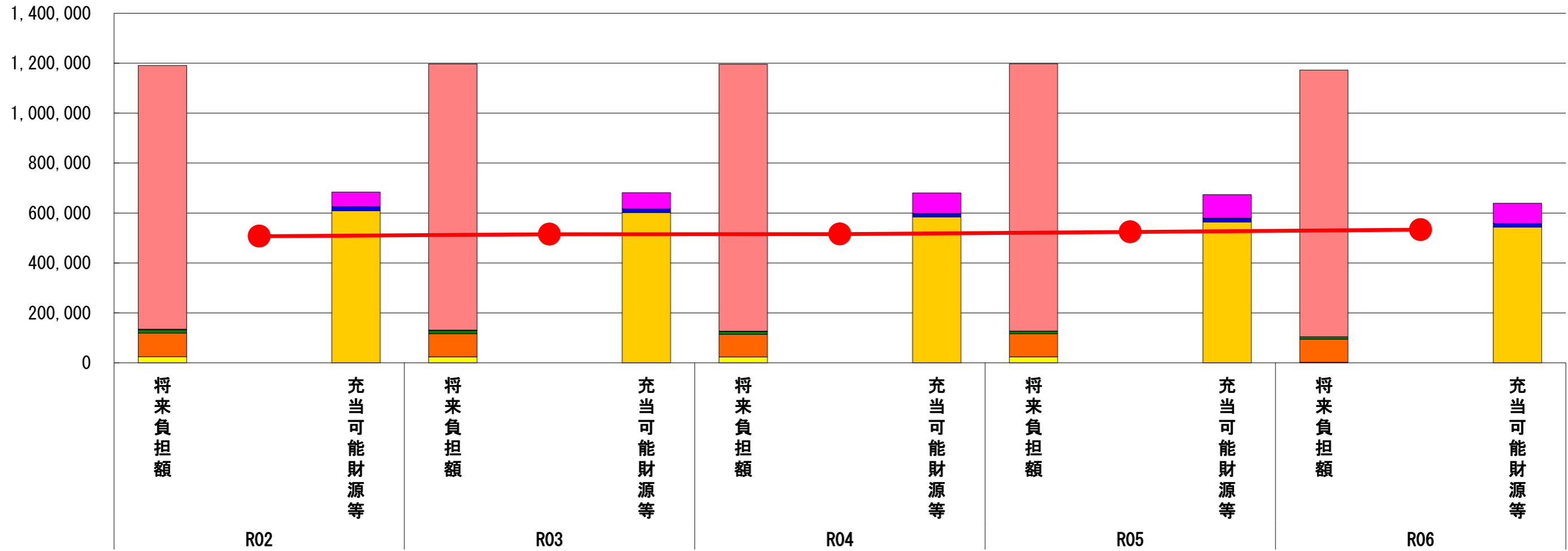


(10) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

令和6年度

和歌山県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		1,056,650	1,065,760	1,069,552	1,070,330	1,067,646
	債務負担行為に基づく支出予定額		1,630	1,519	1,411	705	-
	公営企業債等繰入見込額		13,523	12,498	11,632	10,509	9,897
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		95,013	93,163	89,885	92,186	92,205
	設立法人等の負債額等負担見込額		24,303	23,798	23,622	23,943	2,568
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		58,235	64,427	81,985	94,065	80,334
	充当可能特定歳入		17,123	15,648	15,043	14,950	14,826
	基準財政需要額算入見込額		608,772	601,549	583,582	564,354	543,927
(A) - (B)	将来負担比率の分子		506,989	515,114	515,492	524,303	533,228

分析欄

令和6年度の将来負担比率の分子は、防災・減災、国土強靱化のための緊急対策等に伴う県債残高が増加する一方で、基準財政需要額算入見込額の減少及び充当可能基金の減少等により、前年度に比べ89億円増加となった。

事業の効率化・重点化によりこれらの県債発行を抑制するなど行財政改革の推進により健全化を図っていく。